

情報提供日	2022年(令和4年)7月 日 No.0406
問い合わせ先	文化財推進室 天文科学館(担当:西山・石井) 078-919-5000(内線7152)

報道機関のみなさまへ

特別展 「星と海～太平洋に伝わる航海術～展」 を開催中！

太平洋の島々には、風や波など自然を感じながら海を進む航海術が伝えられています。中でも星はとても重要な目印でした。本特別展では、南半球の星空や、太平洋に伝わる航海術を人々の文化とともに紹介します。

また、今回の関連イベントとして、講演会を行います。何卒、貴メディアで報道・ご紹介いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 名称 特別展 「星と海～太平洋に伝わる航海術～展」
2. 期間 2022年(令和4年)7月16日(土)～9月4日(日)
3. 場所 天文科学館 3階 特別展示室
4. 展示



【協力】海上保安庁、国立民族学博物館、後藤 明(南山大学)、臼田-佐藤 功美子(国立天文台 ハワイ観測所)、津村 光則

5. 関連イベント・講演会「南太平洋の神話と暮らしの中の星座」
 - 1) 日時 8月26日(金) 19時30分～21時(開場19時～)
 - 2) 内容 講演会 講師 後藤 明(ごとう あきら)
 - 3) 会場 天文科学館 2階 プラネタリウムドーム
 - 4) 参加費 300円(駐車料金別途200円)
 - 5) 定員 定員100名(事前申込制)
 - 6) 参加方法 8月2日(火)9時～前日17時まで、当館ホームページ・申込フォームで先着順に受付。



(講師プロフィール)

文化人類学者・考古学者／ハワイ大学 人類学部大学院 博士課程修了。現在は南山大学人文学部人類文化学科教授・海洋文化館総監修者。

6. その他

プラネタリウム一般投影 8月の話題「星を使った航海術」を投影します。

- 1) 期間 8月2日(火)～31日(水)
- 2) 会場 天文科学館2階 プラネタリウムドーム

★プラネタリウム一般投影8月の話題「星を使った航海術」

【投影期間】8月2日(火)～31日(水)

太平洋の島々には、風や波など自然を感じながら海を進む航海術が伝えられています。中でも星はとても重要な目印でした。本特別展では、南半球の星空や、太平洋に伝わる航海術を人々の文化とともに紹介します。

特別展

星と海

～太平洋に伝わる航海術～展

2022年

7月16日(土)～9月4日(日)

会場 明石市立天文科学館・3F 特別展示室



明石市立天文科学館

AKASHI MUNICIPAL PLANETARIUM

〒673-0877 明石市人丸町2-6 <https://www.am12.jp/>

TEL: 078-919-5000 FAX: 078-919-6000

【開館時間】9時30分～17時(最終入館は16時30分)

【休館日】月曜日・第2火曜日(祝日・休日と重なる日は開館し翌日が休館)※8/9・15は臨時開館

【観覧料】大人700円(高校生以下無料) (駐車場)2時間まで200円(以降1時間ごとに100円)

太平洋に昔から伝わる航海術に関する資料を展示します。
(展示資料 マーシャル諸島スティックチャート、航海術アニメーション、
カヌー模型など)

主催：明石市立天文科学館

協力：海上保安庁、国立民族学博物館、後藤 明(南山大学)、

白田 - 佐藤 功美子(国立天文台 ハワイ観測所)、津村 光則



★特別展関連イベント・講演会
「南太平洋の神話と暮らしの中の星座」
講師：後藤 明(南山大学教授)

【日時】8月26日(金)19:30～21:00(受付19:00～)

【会場】天文科学館・2階プラネタリウムドーム

【定員】100名(事前申込制)

【参加費】300円(駐車料金別途200円)

【参加方法】8月2日(火)9:00～前日17:00まで当館ホームページで先着順に受付します。※ホームページで申込ができない場合は、電話でお問い合わせください。

【講師プロフィール】文化人類学者・考古学者/ハワイ大学人類学部大学院博士課程修了。現在は南山大学人文学部人類文化学科教授・海洋文化館総監修者